

## 第十六回新選組書展

### ごあいさつ

このたびは第16回新選組書展にご出品いただき、ありがとうございます。今回は例年よりも多く、全国から700点の応募がありました。遠く沖縄県からも力作が届きました。

今回の書展から始まった新しい試みが二つあります。一つは、従来の「誠」、隊士名、手紙文に加え、新選組と関係がある幕末維新期の出来事を課題に加えたことです。その新しい課題が「黒船」です。「誠」を書いた作品が多いのはいつものことですが、書きやすさもあったのか「黒船」を書いた作品も176点ありました。

もう一つは、新たに「特選助勤」という賞を設けたことです。新選組の「助勤」とは、局長を補佐する任に当たった人の役職名。「特選」に劣らない作品をこの賞に選ぶことで、入選が難しいこの書展の門戸を少し広げることになりました。

今回の応募作品には小学生の力作が多く、選考には本当に悩みました。殊に「誠」は低学年から高学年まで上手い作品が続出しました。このような状況ですので、新たな賞を設けたものの、多くの力作が選外となりました。書道教室などから団体でご応募いただいた作品の中には、先生の素晴らしい作品ですら、選外とさせていただいたものもありました。当落をあまり気にせず、みんなで盛り上げる書展としてご覧いただければと思います。

常連の方々の上手い作品も選外となってしまうのは毎度のことですが、それでも毎回出品してくださる方々が多いのは、嬉しい限りです。この書展では、入選作も選外の作品も、同じ価値を持っています。来年の書展へのご応募を、お待ちしております。

最後に一言。今回の応募作品には、「誠」の点無しが目についたほか、昨年の課題を書いた作品も何点かありました。せっかくの力作なのに勿体ない限りです。お気をつけください。また、幼稚園生からの出品もありました。応募資格は小学生以上。一生懸命書いてくれた作品ですが、残念ながら選外といたしました。

令和5年3月1日

日野市立新選組のふるさと歴史館